

ど の し た 淵

【5年度元気再生事業申請】

区活性化委員会では、町の地域元気再生事業における5年度計画を協議し申請しました。

◆村づくり推進事業

- ・活性化委員会の開催
- ・区及び委員会の組織再編と要員検討
- ・学校跡地活用検討
- ・防災マップ作成

◆文化・民生活動事業

- ・ふるさとの史跡マーキング（看板設置）
- ・名所旧跡のぼり旗制作（田の神さあ）
- ・郷土芸能保存支援

◆産業・経済振興事業

- ・たけのこ掘り体験
- ・離農農地の中核農家への集積
- ・農産物等無人販売所検討

◆環境・紫尾山対策事業

- ・集会所除草／樹木剪定
- ・轟滝周辺除草／景観確保
- ・紫尾山美化活動
- ・マウンテンゴルフ大会
- ・さくら公園植樹
- ・きくら公園活用検討

- ・どのした淵トイレレンタル／水源検討

区のあるゆるる取り組みは地域活性化5か年計画に基づき、年次ごとに活動が推進されます。その推進母体は活性化委員会ですが、地区住民もその重要な要員です。委員任せでなく一人一役。要請がありましたら『出来る事を出来る人が出来る時に出来る範囲で』をモットーに御協力ください。

新年度のテーマは『気づき・動き・紡ぐ』です。

発行責任者

高峯公民会長

三 腰 善 行

090-1089-9432

令和5年7月1日発行

【どのした淵の利活用】

7月16日(日)の午後からはパックラフト&サップ体験を行います。今年は上平川の育成会にもお声掛けしました。

また活性化事業で簡易トイレをリース(7〜9月)で設置する計画です。

少子高齢化、戸数減は益々深刻化する中において、埋もれた地域の魅力を引き出し磨き、利活用することで賑わいの創出、地域の活性化につながる事が重要です。外からの流入を促すことで、歴史ある泊野にかわり・関係性を持つ人々を増やしていきたいものです。

高規格道路が全線開通の時点で、通過地にならないために、泊野インターで降りてもらい体験活動や地域探訪に繋げるための仕掛けに取り組みねば。



新年度のスローガンは『語らひ・共生協働による村づくり』です。



だかね寺小屋【西郷隆盛の人生訓】

小説家童門冬二「西郷隆盛の人生訓」抜粋

■世の中で欲望の無い人がいけばん怖い

「命もいらす、名もいらす、官位もいらす、金もいらぬというひとは始末に困る。しかし、この始末に困る人でなくては、大きな事業はできない。しかし、なかなかこういう人は見出し得ない。なぜならば、こういうふうにもいいられないという人は、ただ単に無欲というだけでなく、日々、道を行っているからだ。正しい道を歩き続ける自信があって、何もいらぬというのである。もっと、こういう人が登用されるべきであらう」

■『道』を行う人は、評判を気にしない。また諸大なパフォーマンスを行わない

『道』を行っている人は、天下があげて悪口を言ってもまったく気にしない。逆にまた、天下をあげて褒められても、これもまた気にしない。それは、自分自身を信じているからだ。自分のやっていることを信じているからである。同時にまた、こういう人は、いたずらに世間の目をそばだたせるようなパフォーマンスを行わない。大袈裟な身振りや、大袈裟な表現をとらない。慎ましやかに、自分の信じたことを成し遂げていく。だから、自分に自信を持っているのだ。『西郷のいう道』すなわち、多くの人々をいかにするために、自分を犠牲にして、みんなの役に立つことをいかにしてやるか、という心算で行動する人々だ。

【7月行事予定】

7月2日 五月供養・懇親会
 7月16日 (早朝) 青少年ふるさと美化活動
 7月16日 (AM) 公民館周辺清掃活動
全員参加(グループ活動)
 7月16日 (PM) パックラフト・サップ体験会
 町文書発送日 6・20日
 資源ごみ収集日 12・26日 (当番1班)

【8月行事予定】

8月5日 夏祭り前夜祭
 8月6日 夏まつり
 8月24日 人権フェスタ
 町文書発送日(8月3日1回のみ)
 資源ごみ収集日 9・23日 (当番2班)

【関東きらら会4年ぶりに開催】

6月24日(土) 新宿歌舞伎町の新宿プリンスホテルに40名が集まり、関東きらら会が4年ぶりに開催されたとのことで、映像機材を御寄付下さった北野春義さんからメールが届きました。ふるさと談議に花が咲いたことでしょうか。『言魂手箱』も、この時配布してくださったそうです。



【区集会所除草作業「ご苦労様でした」】

6月4日(日) 午前8時から当番(1・2班)の皆さんに除草作業をしていただきました。さすがに人数ですね。1時間もかからずに集会所周辺の除草が終わりしました。帰省中の娘さんにも来ていただき有難い事でした。御出役いただいた皆様ご苦労様でした。有難うございました。



7月16日(日)は、グループボランティア活動(公民会居住者全員参加)による公民館周辺(どのした淵・ふれあい広場・高峯川含む)の清掃・環境整備を実施します。グループ分け・作業箇所は事前にお知らせいたします。地域の環境は地域住民で守ることを念頭に、自分が出来る事で協力をお願いいたします。

ふるさと回顧録

『泊野に生きて』 大阪府八尾市 久木野正志

第2章 夏(6月～8月) NO.2

◆かんもんは虫・・・ユサユサと葉っぱをゆする。苦手だった。牛のハンメ(こはん)を切る。葉切りが終わる草切の時、かんもん葉虫が隠れている時があって嫌だった。

◆蚊帳・・・8畳間に家族4人。扇風機がない時代。うちわしかない。勿論網戸もない。四角を紐でくるが子どもには重たい。蚊帳に入るのも蚊を入れないように要領よく。後片付けも大仕事だった。

◆満天の星空・・・風呂上がりに庭で空を見上げる。今にもこぼれそうな星が空一杯。泊野の星空はきれいだである。

第3章 秋(9月～11月) NO.1

◆綱引き・・・十文路(泊野の銀座)から少し高峯よりの道沿い。大きな木の枝を使い、集めた藁を大人3人がそれぞれ1回転しながら回って綱をうつ。中学生にもやれと言われるが上手くない。上集落と下集落に分かれ十文路で綱を引く。時々、高峯公民会と勝負。場所を変えて宮田公民会とは「コランハシ」で引き合戦をした。

◆泥棒?・・・十五夜の日、縁側にススキ、萩とぼた餅や栗などの果物が供えられる。こどもは静かに、黙って頂いた。

次号は 秋・NO.2 第3章 冬(12～2月)をお届けします。乞うご期待 !!